

「次世代システム」の構築に向けベンダーと基本合意

静岡銀行(頭取 中西勝則)では、次世代システムの構築に向けたプロジェクトを開始することとし、基幹系システム(預金・為替・融資等の記帳決済系システムおよび商品・サービスの提供やシステム間の連携を行うハブ系システム)については株式会社日立製作所と、統合情報処理系システム(バッチ処理を中心としたデータ還元・帳票作成を行うシステム)については富士通株式会社との間で基本合意を行いましたので、その概要をご案内します。

静岡銀行では、これまで次世代システムにおけるビジョンの実現に向け、さまざまなシステム構成やアプリケーションの選択肢に対し十分な検討を重ねてきました。この結果、ミッションクリティカルシステムのノウハウを結集したオープン系システム基盤や、徹底したシステムの標準化・シンプル化、戦略実現領域と非戦略(標準化)領域に分離したシステム構成など、国内銀行では例のない新しい設計思想に基づくシステムの実現が可能と判断し、プロジェクトを開始することとしました。

1. ベンダー(ソフト事業者)

- ① 基幹系システム(預金・為替・融資等の記帳決済系システムおよび商品・サービスの提供やシステム間の連携を行うハブ系システム)
 - ・ ㈱日立製作所(本社・東京都千代田区、代表執行役 執行役社長/中西宏明)
- ② 統合情報処理系システム(バッチ処理を中心としたデータ還元・帳票作成を行うシステム)
 - ・ 富士通(株)(本社・東京都港区、代表取締役社長/山本正巳)

2. 次世代システム構築の背景

- ① 現在、社会のさまざまな領域で構造変化が進展しており、金融分野においてもスピード感をもって多様化する金融ニーズに対応することが求められています。
- ② こうした環境下、金融機関が将来を展望した成長戦略を展開するためには、より先進的な金融システムを実現することが重要であり、とくに経営基盤の要となる基幹系システムについては、柔軟性と生産性を追求した時代を先取りする革新的な設計思想に基づくシステムが必要となっています。

3. 次世代システムのビジョン（設計コンセプト）

- ①ビジネス革新を支える新たな設計思想に基づいたシステム
- ②IT投資の最適化によるOHRの低下とスピード経営を実現するシステム
- ③社会インフラとして高水準な安全性・安定性を追求したシステム

4. 次世代システムの特徴

- ①お客さまのニーズに応じた先進的で付加価値の高い商品・サービスの提供はもちろん、営業体制の
変革・営業チャネル拡充等にも柔軟かつスピーディに対応できる機能を保有するシステムの構築
を目指します。
- ②預金、為替、融資といった従来の銀行業務アプリケーションをオープン系基盤上(※)で、コンポー
ネント化（業務機能単位に部品化）・パラメータ化（プログラム処理の外部変数化）することで、
システムの標準化・シンプル化を実現します。これにより、従来の安全性・堅ろう性を継承しなが
ら、機能追加時におけるスピードアップとコスト削減を目指します。

(※)従来のハードウェアからソフトウェアまで単一ベンダーが一括提供する基盤ではなく、世界標
準の技術に基づいたものにする事で、状況に応じてさまざまなハードウェア・ソフトウェア
を自由に選択できる基盤とします。これにより、将来に向けての拡張面や費用面等での優位性
と最新技術の採用が期待できるようになります。

5. 次世代システムの稼動時期 平成 29 年稼動予定